

## 総務教育委員会協議会 2月10日

### 幸田町地域公共交通の再編を進める



町民の足となるえこたん・チョイソコ

「えこたんバス」の停留所を半減し、3駅周辺や人口集中地を走るコンパクトなルートに再編する。再編地区外は、デマンド型（予約制）の送迎車「チョイソコこうた」を拡充し、役割を分けた交通網を構築する。

**問** ルート便数と所要時間は。

**答** 12便で30分以内運行。最終便は小学生が下校で乗車。

**問** 将来、運賃は今までどおり無料か。

**答** えこたんは無料、チョイソコは有償化を検討する。



庁舎西口受付

窓口受付時間短縮について



限られた人員で行政機能を維持し、住民サービスと業務の生産性向上（改善）を図る。

※令和8年7月開始

（窓口時間 午前9時から午後4時）

**問** 庁舎は今までどおり入れるのか。

**答** 時間外は西口受付から出入り可能。（その他8項目を協議）

## 総務教育委員会管内視察 1月15日

### 施設工事の進捗を視察



●荻谷小学校体育館空調設備

近年の猛暑による、体育館内での熱中症が危惧され、児童の安全な快適環境を確保することで、災害時避難所としても重要視される。

工事概要と今後の課題  
・体育館空調設備は、12基設置

・令和8年3月下旬には、工事完了予定  
・ファーストミッションボックス要領に、空調設備の取り扱いを記載。

**問** 災害時の暗闇でも、電源の見える化を。

**答** 電源高さ・蛍光色等を検討する。



説明を聞く委員

●本光寺肖影堂改修

令和元年度から文化財の価値を後世に継承するため、損傷を復元し、安全確保を進めた。令和8年度は、防災設備工事・工事監理・環境整備・修復後の評価を計画。

**問** 昔の建築技術を知って修復するのか。

**答** 関係者で協議しての修復が多い。



本光寺肖影堂改修現場

# 総務教育委員会行政視察 1月29日～30日



## 教員の働き方改革などを学ぶ

1月29日

静岡県吉田町

●リーディング

DXスクール事業

全町教員が、クラウドにアクセスできる環境を整備し、チャット（雑談会議）を利用した、他校との情報共有を図っている。

全町の学校で取り組む研修会が展開され、子供たちの情報交換も進み、自主DX学習が拡充している。

☆感想

熱意ある女性教員を、



先進DX推進説明を聞く



DXを学ぶ児童

教育委員会へ派遣し学校DX推進アドバイザーとしての任務と、文科省研修派遣など、行政の意欲を感じた。

静岡県静岡市

●部活動の地域移行

少子化に伴う部員数、部活動数の減少により、地域クラブ活動に転換実証をしてきた。

指導者不足が課題となり、子供たちの希望調査で、スポーツ・文化芸術の要望から、地域人材ネットワークを推進し、企業・実業団に協力要請を実施中。

☆感想

部活動現場を熟知した教員を、市総合教育係に派遣し、市議会・行政・地域一体活動の総括役として、新しい地域クラブ活動への取り組みは、幸田町も先進事例を参考にし、新たな施策を期待したい。



先進部活動事業を学ぶ

1月30日

静岡県富士市

●防災アプリ「防災ふじ」について

市全ての防災情報が分かる、防災アプリを作り令和5年11月1日より配信開始。

☆感想

平時から災害時まで活躍する機能を搭載し、情報が自動的に届く。(プッシュ通知) 全ての人に適応は難しいため、地域防災役員と連携で、自助・共助・公助を強化する。

全国で防災情報のデジタル化が展開中で、富士市も防災アプリ「防災ふじ」事業に力を入れていますが、課題は全員に活用が困難。幸田町も自助・共助・公助を強化し、デジタルと併用した情報発信が重要と感じた。

安否確認ツール



アナログ・デジタル

静岡県静岡市

●静岡県地震防災センター（施設見学）

地震の歴史・揺れ原理・地震対策・地震体験で学習した。

☆感想

震度7の体感訓練では、人は無力であることを痛感した。



地震体感場

◎視察総合評価

今回は、教員の働き方改革に繋がる事業と防災学習・体験で、本町にも活かす内容も多く、委員から高い評価を得た。